

## ネイティブエリスリナ spp t-プラスミノゲンアクチベーター阻害剤

Cat. No. NATE-0878

Lot. No. (See product label)

### はじめに

□明

プラスミノゲンアクチベーターインヒビター-1 (PAI-1)、内皮プラスミノゲンアクチベーターインヒビターまたはセリンE1としても知られる、はヒトにおいてSERPINE1遺伝子によってコードされるタンパク質です。PAI-1はセリンプロテアーゼインヒビター（サーピン）であり、組織プラスミノゲンアクチベーター（tPA）およびウロキナーゼ（uPA）の主要な阻害因子として機能し、プラスミノゲンの活性化およびしたがってフィブリン溶解（血栓の生理的分解）を行います。それはセリンプロテアーゼインヒビター（サーピン）タンパク質（SERPINE1）です。

用途

組織プラスミノゲンアクチベーター（血栓症）などのセリンプロテアーゼを抑制し、メラノーマ細胞からt-PAをアフィニティ精製するため。

別名

t-プラスミノゲン活性化因子阻害剤; tPA阻害剤

### 製品情報

|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 種    | エリスリナ属                                                     |
| 由来   | エリスリナ属の種子                                                  |
| 形態   | 凍結乾燥粉末                                                     |
| 活性   | > 700 U/mg タンパク質                                           |
| 単位定義 | 一単位の抑制活性は、ETPAIのフルオロメトリック単位を50%抑制する inhibitor の量として定義されます。 |

### 保管・発送情報

|      |       |
|------|-------|
| 保存方法 | -20°C |
|------|-------|